

令和 3 年度

神明・船越・的矢処理区マンホールポンプ場

非常通報装置改築更新工事

【電気設備】

特 記 仕 様 書

志摩市上下水道部下水道課

目 次

第1章 総 則

第 1 節	適 用 範 囲
第 2 節	一 般 事 項
第 3 節	適 用 規 格
第 4 節	疑 義
第 5 節	設 計 変 更
第 6 節	工 事 の 実 施
第 7 節	認 可 手 続
第 8 節	引 渡 し 工 期
第 9 節	保 証
第 10 節	提 出 書 類
第 11 節	機 器 納 入

第2章 電気設備

第 1 節	共 通 事 項
第 2 節	自 動 通 報 装 置 仕 様

第3章 据付配管配線工事

第 1 節	一 般 事 項
第 2 節	電 気 配 線 工 事

第4章 塗 装

第5章 荷造り運搬

第1章 総 則

第1節 適用範囲

本特記仕様書は神明・船越・的矢処理区マンホールポンプ場非常通報装置改築更新工事に関する事項を定めるものである。

第2節 一般事項

- (1) 各機器は、特記仕様書に示された仕様条件に対して十分能力を発揮するのは勿論、耐久性、維持管理、及び安全性を考慮した構造とし、運転が確実で操作の容易な物でなければならない。
- (2) 機器の設計製作にあたっては、図面及び特記仕様書によること。

第3節 適用規格

本工事における機器の製作、据付、及び電気設備工事は次の規格に準拠すること。

1. 日本工業規格（J I S）
2. 日本電気工業会標準規格（J E M）
3. 日本電気規格調査会標準規格（J E C）
4. 電気設備技術基準
5. 電力会社内線規定
6. 労働基準法
7. その他関係諸規格、条例等

第4節 疑 義

本仕様書及び添付図面は、設備の基本概要を示すものであり、疑義を生じた場合は監督員と協議のこと。特に明記しない部分でも機器設備及び運転操作上、必要な設備は全て完備すること。

第5節 設計変更

本工事における設計変更等については、監督員と協議して定める。

第6節 工事の実施

本設備工事にて受注者は、契約後速やかに技術者を派遣し監督員と十分な打合わせを行い工事に着手すること。

尚、打合事項についても議事録を作成し提出すること。

また、工事に用いる電力設備、消費電力、雑用水等は、全て受注者負担とする。

第7節 認可手続

本設備工事において受注者は、この工事に必要な監督官庁及び機関に対する認可検査等の手続を行い、これらに要する一切の費用は受注者が負担すること。

第8節 引渡し工期

本設備工事の完了は、機器の試運転及び関係監督官庁、電力会社等の立会検査終了後引渡しを行うものとし、工期は令和 4 年 2 月 28 日とする。

第9節 保 証

引渡し後、1 年以内に受注者の製作、施工に基づく故障が生じた場合は、監督員と協議の上、受注者は速やかに無償で修理または、取替えること。
但し、天災等の不可抗力による事故又は、取扱い上の不注意による事故に対しては、この限りではない。

第10節 提出書類

1. 承認図書

本仕様書ならびに添付図面に記載する事項は、主要事項のみを示すものであり、受注者は実施に当たり事前に承認図を作成し監督員と、協議決定後製作に着手すること。

- (1) 製作仕様書
- (2) 機器配置図及び据付図
- (3) 主要機器の外形図、断面図
- (4) 電気関係配線図
- (5) 電気関係展開接続図
- (6) 工程表
- (7) その他監督員が必要と認めるもの

2. 完成図書

- (1) 上記承諾図書の最終取纏め図書
- (2) 各機器の検査記録
- (3) 取扱説明書
- (4) その他監督員が必要と認めるもの

第11節 機器納入

- (1) 工事検査に合格した各機器類は、送り状を付け現場へ順序よく搬入すること。
- (2) 各機器は、損傷の無いように運搬には十分に注意すること。

第2章 電気設備

第1節 共通事項

- (1) 盤面及び盤内取付器具等の配置、数量は、メーカーの標準とし、承認図を提出すること。
- (2) 盤内の取り付けに必要なボルト、金具等一切を付属すること。
- (3) 盤は防水構造とし、塗装はメラニン樹脂系焼付塗装とする。
- (4) 内部接続電線には、原則として1. 25 mm²以上の600Vビニール絶縁電線または電気機器用ビニール電線を使用すること。
但し、主回路及びこれに準ずるものは製作者の標準とする。
- (5) 内部接続電線は、JEM1134による色刷を行うこと。
- (6) 内部接続電線は、原則として、圧着端子を使用すると共に、マークバンドを取り付けること。
- (7) 端子台は樹脂製のものを使用し、多少の余裕をとっておくこと。
- (8) 計器は原則として、2. 5級埋込形を使用すること。

第2節 非常通報装置仕様

(1) 概要

各マンホールポンプ施設より各機器の運転信号、故障信号、水位レベル等のデータを取込、表示・記録、日報等の帳票作成を行い 異常発生時には管理者への通報をおこなう、クラウド型監視通報装置とする。(民間のサーバーを利用)

(2) 形式 盤内取付型

(3) 仕様

寸 法 260×180×90(mm) 以内

周囲温度 (動作時) 0℃ ～ +50℃

電源電圧 AC100V/AC200V/ AC220V 50/60Hz

通信方式 LTE 回線

伝送速度 112.5Mbps (最大) 程度

入力点数 デジタル 20 点程度

アナログ 4 点程度

出力点数 デジタル 4 点程度

通報宛先 3ヶ所程度

通報設定 警報発生時・警報復旧時にあらかじめ指定した関係者へ一斉に警報内容をメール通報する。

停電補償 停電から3時間

第3章 据付配管・配線工事

第1節 一般事項

本機器の据付、配管工事ならびにその工程などは、あらかじめ監督員と打ち合わせの上決定する。

第2節 電気配線工事

1. 電気品据付

(1) 機器の取付けにあたっては、取付け位置など関係位置を正しく出して施工すること。

2. 配線

(1) ケーブルの種類、太さについては指定メーカーの製品を使用すること。

(2) ケーブルと各機器との接続は圧着端子を用い、確実に接続し整然と配線すること。

3. 電線管

(1) 本工事に使用する電線管はJ I Sにより製作された電線管を用いること。
尚、地中埋設部については厚鋼電線管（ポリエチレンライニング）又は、硬質可とうポリエチレン管を使用すること。

(2) 低圧ケーブル及び弱電流電線は相互に有害な誘導を起こさないように配線すること。

第4章 塗 装

第1節 各機器の塗装は、工場における試運転後とし防錆と清掃に留意し入念に行うこと。

第2節 配電盤関係については、十分下地処理を行った後仕上塗装を行うこと。
尚、仕上げ色は打合わせの上決定する。

第5章 荷造り運搬

第1節 製品の現地搬入に対しては、工場試験合格後とし施工計画書を提出し監督員と打合せ、その指示により行うものとする。

第2節 輸送に当たっては、厳重に荷造りの上、変形や破損のないようにすると共に、各製品には名称、社名等を記入し、その都度出荷案内書を監督員に提出し内容物の明細、数量等を明記して受渡しを行うこと。

第3節 製品の受渡し場所は、現地の指定場所とする。

第4節 運搬等において一般構造物、住民等に損害を与えてはならない。

第5節 据付現場における荷下ろしは、振動、衝撃等を与えぬように細心の注意を払うこと。